

“がきんちょ”ファミリー主催 『 子育て研修会 』 感想アンケート 一報告一

10月26日(土) 午後7時～9時 足立区勤労福祉会館



「今の子育て、子どもの環境に思うこと」ワールドカフェ方式トークについて

- ① 今の子ども達の事で、一番心配な事！
- ② 対処、解決の方策は？
- ③ 大人としてできること・見えてきたものは？

進行役から出された3つのトピックを①20分、②20分、休憩挟んで③20分の時間内でのグループトークを下記のマナーを守りつつ進行。各グループからのまとめの発表。

講師の明日の参加型研修に引き継ぐまとめと足立区の現状を捉えた上での問題提議

- 全員が話のできるように！
- ホスト役をひとり！ <メンバーが変わっても、今までの出た話を説明してくれる世話人さん>
- 自分以外の人の話を聴いて！
- 人の意見の批判はしない！

■ 足立区の現状把握の数字…間違っているとの声あり。

■ 子どもの世界が小さくなっていることが今、一番気がかりな事でした。

みなさんと語り合う時間、こちよ時間でした。

また、お会いできる日を楽しみにしています。

■ たっちゃんのお話、もっともっともっ聞いていたかったです。

■ 打ち解けた雰囲気…内容も濃かったように思います。

■ 大山さんの司会、とってもお上手でステキでした。

お菓子、飲み物があって、とても和やかで良いワールドカフェでした。

■ 初めて参加させて頂きました。カフェ方式、良かったと思います。

■ ママ達の経験値は低いです。だから遊びの楽しさを我が子に伝えきれない。

長い長い眼で、まずママ達に遊びの楽しさを伝えたい。子ども達には家庭が全てじゃない。いろんな人がいるんだと声を大にして言いたい！

ワールドカフェ方式トーク…良いと思いますが、まだまだのびしろあると思います。

ご無沙汰しています。憶えていただけてたでしょうか？

元氣もらいました。私も細々と、草の根で、子育ての楽しさ、遊びの楽しさ、人とつなが

る事のいとおしさを表現しています。今日はおじゃまいたしました。

- 失われた三つの「間」(遊ぶ仲間・没頭する時間・自然という空間)について話させていいただきましたが多くのの方が同じ意見、不安を抱かれていることを知りました。解決策として私自身、学校以外の子ども社会を与える事と、子どもの自己達成感・自尊感情を育むために、支配型育児から共有型育児へ転換していただく為のワークショップを行っています。

ワールドカフェ方式トークについては・・・初めて参加させていただきました。とても楽しく話させていただき、また、貴重な意見をうかがうことができ、充実した時間をすごさせていただきました、ただ、テーマに対して話し合う時間が少なく、もう少し話し合う時間をいただければと思いました。

明日は仕事の為、不参加となります。残念です。

貴重な機会をありがとうございました。

- 子どもの遊ぶ場所がない。けれど、遊べるところまで“わざわざ”出かける(?)のは、ちょっと違和感があります。

どこでも自由に遊べるといいなあと思います。

ワールドカフェ方式トークは、たくさん話せて良かったです。

- いろいろな問題があるんだなあ～と?

ワールドカフェ方式トークについては、知らない方々とお話できて良かったです。

- 参加できて本当に良かったです。ありがとうございました。

- 「和音」のミニコンサート、すずやかで美しい歌声、ありがとうございました。

心が洗われた思いです。

ワールドカフェ方式トークについて・・・おいしいお菓子 飲み物 そして

何よりも すばらしい 出会いとトーク！！

足立区にぜひ根付かせていきましょうネ！！

“教育は力なり”という言葉があります。それぞれの困った事を、真摯にユーモアを交えながらお話しできて良かったです。すばらしい時を共有できた事に感謝！！

- やはり 反原発！？でしょうか？

飛躍のようで・・・そうではない。子どものためです。

ワールドカフェ方式トーク・・・全員での交換ではありませんが、初めての方とお話できました。(上記の話もして・・・ちょっと浮いたかな?)

足立区でもたき火のできる居場所をつくりたい。

子ども達と付き合うのは、ゆったりと・・・

でも、大人達の近々の問題対処はどうするか？

- 遊び場の減少、親子のふれあいの少なさ

子ども達の考える能力減少など

昔のような自由さが無くなってしまうことは、とても悲しいです。

大人たちはどうすれば・・・子どもたちがせいちょうできるか、色々な意見を聞くことができ勉強になりました。

ワールドカフェ方式トークについては、同じ意見であっても考え方は様々、どれが正しくて

どれが間違っているかではない。思ったことを気軽に話せたことで自信がつき、時々は考えさせられますね…。

- 毎日、学童で小学生と生活をしていて、たくさんの問題を抱えているなあ～と思います。学力に悩む子どもは、ある意味、普通、当たり前携帯依存の親との関係に悩む子、両親の突然の離婚で明るい表情の親の隣で、苦しい表情をしている子、毎晩 酔った親をなだめている子、今は親が子を育てている…というより…子が親の自由勝手に我慢して、精神的に大人になってしまった子は、親を育てているようにも感じます。その反面、子どもたちに安全はなく、自分たちが生活するという場所にも居場所がない子が多いように思います。大人になる前に大人の役割をさせられても納得できず(あたりまえですが…)大人に愛されつくされていない為に、本当の成長ができずに…毎日がせつないです。

ワールドカフェ方式トークは、たくさん人の話が聞けること…いいですネ！！

もう少し、時間があつたら…お願いします。

- 中高生の居場所がない。
異年齢交流の場がない。
道具などがないと遊べない。(何もないと遊べない。)
勉強についていけないのに勉強しない。
ワールドカフェ方式トークについて…初めてなので、とまどいでしたが楽しかったです。
- 就学援助率の多さに驚きました。一人の子どもに関わる他人の数が少ない。
ワールドカフェ方式トークについては、いろんな人の意見がきけるので良かった。

10月27日(日) 10:00～12:00 足立区/こども支援センターげんき

「子どもの育ちと居場所」について

- 子どもたちの気持ちを発散することで自身の楽しみが経験となっていく。
更に他人と関わる楽しみが増えることで、自身の思いやりが自然にできるようになる…。
それがしだいに大人になって社会貢献につながっていく。
大人たちは子どもの成長を見守ることが大切であることを理解できたらと思います。(口出しはなるべくしないで…)
- 1分トーク～武勇伝～ ..参加者同士が自分一番の武勇伝を語り合いました。
講師の講演から→短所を治すより、遊びから学んでいく。たごっこパークの子どもたちの様子、いきいきNPO法人の立ち、上げて苦勞(A君～D君の事例)
「おもしろ荘」..商店街の空き店舗の利用
- 大人が企画するドッチボール大会は、大人がやればいい。
子どもから学ぶことを…
今、私ができることは何だろう

他人の存在が人を育てる。人との関係があるから…人間になる。

- 子どもたちの居場所を作る。いつから考えるようになったのだろうかと思います。

今日、登場したA君、B君、C君、D君 どの子ども特別なことをしているわけでもなく…特殊な場所で過ごしているわけでもない…ごく普通に遊びの中でいろいろなことを学び積み重ねてきただけ！ そんな普通のこともできなくなってしまっている子どもたちに私たちができることは…

今の世の中、なんとなく違う方向にいつているのではないかと、疑問を持つ今日この頃…

この疑問の解明は、午後に…

それにしても、子どもの自然の姿…本当に楽しいです。昨年、墨田の研修時に見た‘たごっこ’の子どもたちよりステキです。キラキラ度がさらにバージョンアップ！！

- 子ども目線で考えてきたことが、自分達大人に置き換えてみると、確かに…こんなことはやりたくないと思いました。これは結局、子どものことをかんがえていないことと一緒だと感じました。子どもは自分たちで考え、動ける。逆に言うと、自分達よりも大人なのかもしれません。そういうことを考えて、これからは取り組んでいきたいと感じた講演会でした。

- 子どもが育っていく場所(環境)

「遊びの中に大人が入っていかない。」を基本に子どもに対しては、ドキドキハラハラしながらみていられなくなるのが凡人！ここは競争の場所ではなく、共生の場所であるはず。共生の場所は、その子の持ち味が見える所でありたいなあ～

- ・冒険遊び場は松原団地を見たことがあるが(昨年)足立区でも造ってほしい。本当は舎人公園クラスの大きな公園がいい。
- ・今のこどもは、かわいそうだ。子ども時代に「遊び」を知らないのだから。きけんな場面に出会わない限り、人間は成長しない。
- ・「斜めの大人」という言葉を初めて聞いたが、確かに「役に立たない大人」も必要だ！私は障がい児、不登校児に接しているが、大人は余り介在しない方が良い。
- ・ワールドカフェ方式トークについて

私も教師だったのでワールドカフェ方式トークを教育現場に取り入れた方がいいと思う。日本は、余りにも子ども中心の授業ではない。結果的に、日本人は **debate** ができない人種になってしまったのだ。

南相馬市の南相馬市立病院副院長 及川先生及び「ふるさと奨励金」で繋がりがあある先生から…こちらでは、子どもたちが自ら遊びの準備をすると聞いて、頼もしいと思った。

10月27日(日) 13:30～16:00 足立区/こども支援センターげんき

「大人にできること」について

- 渡部さんがあげたデータ[不登校・イジメ・自死・虐待などの]から、日本の悩める現状

が浮かび上がってきた。ここで人間がいきいける「精神的条件」は何かと考えた場合、それは“コミュニケーション=相互理解”だと思う。実は、みほんとなるべき大人がコミュニケーションができていないのだ。夫婦でさえも、そう。

だから、子どものコミュニケーション能力が欠けてくるのは当然のこと。私はぶっちゃけたはなし、日本は貧乏になった方が良いと思う。テレビ、ラジオ、灯りの無い生活は、再び「人間らしさ」を取り戻せるからだ。

- 今までにたちちゃん、みっきーの話を何度か聞いていますが、何度も考えさせられています。このことを草加の冒険遊び場の人たちに伝えていきたいと思います。
- 足立区やその子どもたちを取り巻く環境の厳しさをあらためて認識しました。渡部さんの活動は、そのお人柄と熱い思いと慈愛で、たくさんの生きにくさを抱えた子どもの抛り所をつくってしまっていた…といった印象を受けました。ご苦労も多いのでしょうが思いのままに多くの人を受け止め、寄り添ってこられた姿は、とても感動でした。これからもずっと学びながら「できることをやる。」に近づいていきたいと思います。
- 大人たちはどうしても、いけない部分をとりあげ、指摘して、正しいことを教えようと必死なのかもしれません。それでは、子どもたちは良くなるはずがありません。「困った子」扱いをどうしてもしてしまうが「困っている子」という視点に変えて、子どもたちを見守ることがいかに大切か…困っている子は、一人だけではないということを理解することも大切なことだとわかりました。あたたかく…子どもたちの様子を見守り続けることが一番、大切なことではないでしょうか…?
- 他人を殺すか 自分を殺すか…それでは解決できないと思ってしまう。
かりそめの理解 心をかよわせる まちがってもいいのかな？
放課後で出会う子どもたちへの関わりにもヒントになりました。
がんばれプアーズは、何度見ても…涙が出ます。
- 私自身も生きづらさを抱えていて、子ども時代(反抗期)虐待を受けていたことを思いだしました。また、自己肯定感のない友人と交流しています。(私にも、必要不可欠な存在でもあります。)息子は反抗期ですが、「自立期」と言われてスッキリ!!目が覚めた思いです。息子の元気なことに感謝します。ありがとうございます。
少しでも、現状を変えるよう努力したいと思います。
- 大人が大人であることとは…なんでしょうか？
子どもがいる人もいない人も、みんな子どもを育てる。
私たちが生きている今の社会を引き継ぐ子どもたち…誰の子…ではなく、社会を引き継ぐ子どもたちをみんなで見守って、安心して育つことができる環境をつくっていきたいと思いました。
大人が口癖のように言ってる「疲れた。」の一言。10回のうち1回でも「愛」を語って欲しいです。
- 色々な数字や話を聴いて、考えさせられる講演会でした。
私も、子どもたちの地域での居場所づくりなどを考えていきたいと思っておりましたが…この講演会を通して難しいことであることがわかりました。
けれど、大きなことはできないけど、斜めの存在にはなっていきたいです。

- たくさんの友達に会える(共感できる友達)出会いの場の提供
仲間がいれば、自己肯定もできるし、自信もてるのではないか？
「本当に大人にできること」と、言われれば、その後の人生に結果が見られる場所提供
でありたい。
-